

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用			
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置			
1	女 50代	2次性肺動脈性肺高血圧症 (膠原病, 間質性肺炎, オーバーラップ症候群, 骨粗鬆症, 鉄欠乏性貧血, 慢性胃炎, 不眠症)	5mg 58日間	間質性肺炎増悪, 白血球減少			
				投与開始日	本剤 5mg の投与を開始。 白血球数: 4050/ μ L, KL-6: 601U/mL, SpO ₂ : 94% (O ₂ /L)		
				投与 16 日目	KL-6: 726U/mL と軽度上昇。		
				投与 30 日目	白血球数: 5380/ μ L と低下なし。 胸部 CT で左 S3 末梢や左 S8 に新たなスリガラス様陰影の出現あり。 SpO ₂ : 92%, 間質性肺炎増悪が発現。		
				投与 58 日目 (投与中止日)	白血球数: 3240/ μ L と低下あり。 KL-6: 1033U/mL と上昇。薬剤性を疑い, 本剤の投与を中止。 SpO ₂ : 93%, 白血球減少が発現。		
				中止 27 日後	白血球数: 5520/ μ L と回復。KL-6: 945U/mL とやや低下。 胸部 CT で左 S3, 左 S8 に認められたスリガラス様陰影は消失。 SpO ₂ : 95%, 間質性肺炎増悪, 白血球減少の転帰は回復。		
			中止 56 日後	KL-6: 773U/mL に低下。SpO ₂ : 95%			
臨床検査値							
		投与開始日	投与 16 日目	投与 30 日目	投与 58 日目 (投与中止日)	中止 27 日後	中止 56 日後
	白血球数 (/ μ L)	4,050	—	5,380	3,240	5,520	—
	KL-6 (U/mL)	601	726	—	1,033	945	773
併用薬: タダラフィル, ワルファリンカリウム, プレドニゾロン, ファモチジン, アレンドロン酸ナトリウム水和物, テプレノン, プロチゾラム, エチゾラム, スルピリド, クエン酸第一鉄ナトリウム							

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用						
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置						
2	女 30代	肺動脈性肺高 血圧症 (全身性エリ テマトーデス, 間質性肺炎, 汎血球減少, 心嚢液貯留, 橋本病)	2.5mg 13日間	間質性肺炎(増悪), 動作時息切れ, 動脈血酸素飽和度低下						
				投与約 1.5 ヶ月前	全身性エリテマトーデス (SLE) の全体的な治療に関してプレドニゾロン 60mg 投与開始。 肺高血圧症に関してタダラフィル 40mg 投与開始。					
				投与開始日	肺動脈圧は改善傾向認めたが、いまだ高値であったため、本剤 2.5mg 投与開始。					
				投与 3 日目	動作時息切れの自己申告あり。SpO ₂ の低下が認められた。					
				投与 9 日目	心エコーでは心負荷所見なく、胸部 CT で間質性肺炎増悪を認めた。					
				投与 13 日目 (投与中止日)	本剤による副作用と考え他の薬は変更せず本剤中止とした。					
				中止 2 日後	息切れの症状は軽減し、SpO ₂ も改善。					
				中止 6 日後	胸部 CT で間質性肺炎改善傾向認めた。 その後、間質性肺炎増悪を疑う所見なく経過している。本人の息切れ自覚症状なくなる。					
臨床検査値										
	投与 48 日前	投与 28 日前	投与 7 日前	投与 4 日目	投与 9 日目	投与 11 日目	中止 2 日後	中止 5 日後	中止 9 日後	中止 16 日後
SP-D (ng/ml)	—	103	—	—	—	225	—	—	117	80.2
KL-6 (U/mL)	440	—	—	—	—	332	—	—	419	341
LDH (IU/L)	—	—	231	274	—	278	—	216	—	—
CRP (mg/dL)	—	—	<0.3	0.3	0.8	—	<0.3	—	—	—
併用薬：タダラフィル, レボチロキシンナトリウム水和物, アルファカルシドール, モサプリドクエン酸塩水和物, プレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム										